

オープン カレッジ

毎年8月に「24時間テレビ」が放送される。1978年にスタートし、2023年で46回となり、夏の風物詩といえる番組である。日本テレビ系列で大々的に募金が行われ、東日本大震災が発生した2011年には約20億円が集まったが、現在は10億円前後の年が多い。

一方で、同じ8月にスタートした国立科学博物館の500万点のコレクションを維持するためのクラウドファンディングは早々に目標額の1億円を達成し、約4・8万人から約7・7億

人生100年時代の金融経済教育

クラウドファンディング「イ」を生かして、金融面の幸福や満足度を高める「金融ウェルビーイング」を実現するのである。

2022年7～8月に、椋山女学園大学現代マネジメント学部が沖縄県読谷村で「明るいダイクツリズム」で教育旅行を増やすための現地調査を行う資金をクラウドファンディングで募集し、目標額35万円で支援額46・6万円を集めて成立した。しかし、SNSやネット掲示板で、「沖縄へ行く＝遊び」であり、「遊びは自分のお金ですべき」という批判を受けた。過去にも学生が旅行資金を募集して批判を受けた

り、国立科学博物館のクラウドファンディングでも、国立の施設には国が十分な財政支援を行うべきであるという批判があった。これらの批判はクラウドファンディングの趣旨や制度に関する知識(金融リテラシー)の欠如による。学生はクラウドファンディングの知識(金融リテラシー)を生かして実践した(金融ケイパ

金融ケイパビリティから 金融ウェルビーイングへ

円を集めている(9月26日時点)。11月5日が締切で、その日に増加する予想される。



椋山女学園大学
現代マネジメント学部
准教授 水野 英雄

重視されるようになった。金融経済教育においては、金融について単に知っているだけでなく、使いこなせる能力が必要であり、それによって人生の幸福度を高める。例えば、単に節約するだけでなく、節約して貯めたお金を有効に活用してこそ、人生の幸福度を高めることになる。金融に関する知識「金融リテラシー」を学び、金融知識を活用する能力「金融ケイパビリティ」

を学ばなければならない(金融ウェルビーイング)という目的を明確にした金融経済教育の推進が必要である。

みずの心でお 国際経済学、
経済政策、経済教育。名古屋大
学大学院経済学研究科博士課程
後期課程退学。